



販売・配達に関するお問い合わせ  
06-6633-9357 (平日9時~19時、土日祝日~17時)  
http://o-sankei-hanbai.com/c/ (平日の  
紙面・記事へのご意見・お問い合わせ)  
06-6633-9066(平日9時~18時、土曜~17時、日祝日休  
o-dokusha@sankei.co.jp  
購読のお申し込み  
0120-34-3733 (平日9時~19時、土日祝日休  
http://www.sankei.co.jp/reade

# 産経新聞

水

朝の詩

大阪府寝屋川市  
井手 敦行  
61

会社の部下や同僚のプラス面に目を向け、褒めることで会社の業績向上につなげる取り組みが注目を集めている。10月には「日本ほめる達人協会」も発足、検定試験も行われており、達人3千人が誕生している。子育てだけでなく仕事の現場でも「褒めて育てる」がキーワードのようだ。  
(佐々木詩、写真も)

## 目標達成

「〇さんは必ずお客さまの洗車の手伝いをします」「祝・目標達成 〇さん、△さんの働きのおかげです」  
大阪府北部で自動車販売などを行っている「ネットトヨタニューリー北大阪」(大阪府豊中市)は今年2月から、称賛に値すると思う行動を社員同士で書き込む「称賛カード」を導入。A5サイズのカードに、上司が部下を、先輩が後輩を、ときには先輩が先輩を褒める言葉を書き込み、店舗ごとに掲示される。

取締役の小西敏仁さん(31)の業務ノートには「〇さんは、僕がブラックコーヒーが好きなることを覚えていてくれた」などの書き込みが随所に。「どんな些細なことでも忘れずカード

# 「褒める」で社員のやる気アップ

## 「協会」発足、達人3000人を認定

「褒める」きっかけになったのは、同社の幹部が、大阪市西区で調査会社を経営している西村貴好さん(43)のセミナーを聞いたことだった。  
西村さんは大学卒業後、家業のホテル運営に携わった際、人材定着率の低さに直面。雰囲気を変えたい  
に書けるように」(小西さん)との思いからだ。  
「褒めて人の良い所を探そうちに、社員全体の意識も変わってきた。「マイナスマの指摘ばかりしている」と、失敗を恐れて守りに入る。褒めることで挑戦しようという気持ちが高まった」と小西さん。今まで売り上げ目標に届かなかったが、スタッフ同士が褒め合うようになって目標達成し

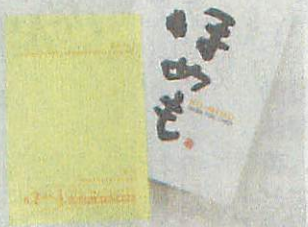


社内の掲示板には「称賛カード」がずらり。小西さん(左)は「カードを書くことでその人への理解にもつながります」 —大阪府豊中市

## 心も健康に

## メモ帳「ほめも」も作製

日本ほめる達人協会は、褒めることを日常の習慣にしておうと、メモ帳「ほめも」一写真一を作製した。社内や家庭、お店などで、褒める言葉を書き残すことができる。同協会



と、些細なことでも「ありがとう」と感謝を伝え、具体的に言葉で「褒めて伝える」ようにした。すると、従業員の間で褒める目に見えて高まったという。  
この経験から褒めることの重要性に着目、講習やセ

「気持ちの良い対応を受けたとき、感謝を伝えるツールとして活用を」。1冊250円。同協会ホームページ (http://www.hometatsu.jp) から購入できる。  
「承認効果」をもたらし、社員の働く意識を高めることが実証されたという。  
西村さんは「褒めることは、褒める側、褒められる側双方の心の健康にも効果がある。パワーハラスメント(職場の権力パワハラ)を利用した嫌がらせ)やいじめによる自殺や心の病が問題になる社会で、一人でも多くの人に『ほめ達』になってもらい、心のエアバッグの役割を果たしてもらえれば」と話している。  
「ほめ達」がいるという。10月には「日本ほめる達人協会」(本部・大阪市)も設立した。  
太田肇・同志社大学教授(組織論)と西村さんは昨年、大阪市内の企業で社員延べ1千人を対象に次のような研究を行った。社員の半分を「ほめ達」上司の下で、もう半分はそれ以外の上司の下で半年間、働かせた。すると、「ほめ達」の下で働いたグループの方が企画などの提案力が伸びた。「褒めること」が自分を認めてもらえたという「承認効果」をもたらし、社員の働く意識を高めることが実証されたという。  
西村さんは「褒めることは、褒める側、褒められる側双方の心の健康にも効果がある。パワーハラスメント(職場の権力パワハラ)を利用した嫌がらせ)やいじめによる自殺や心の病が問題になる社会で、一人でも多くの人に『ほめ達』になってもらい、心のエアバッグの役割を果たしてもらえれば」と話している。